

「恋人の広場」に改称

尾道の千光寺公園内「聖地」
市、ハート形花壇も設置

尾道市は、同市西土堂町の千光寺公園にある「恋人の聖地広場」を「恋人の広場」に改称し、ハート形の花壇10基を設けるなどリニューアルした。呼びやすくした新名称と、甘いムードをPRして、カップルが集う名所に

したい考えた。31日午前11時からお披露目会を開く。

広場は公園西端の南向き斜面の約20㍓。市が2011年10月に整備し、ハート形の遊歩道がシンボルとなっている。ただ、カップル

が訪れるスポットとしての知名度は、市が期待したほど高まっていないという。

新たに設置したハート形の花壇は、広さが3・25平方㍓と2平方㍓の大小2種類。このほか、芝生を張り替え



「恋人の広場」に改称された広場

たり、スプリングライを取り付けたりした。リニューアルは、農薬や肥料など販売の大信産業（尾道市）が創立60周年記念の地域貢献として市に協力。約1千万円の費用を負担して施工した。

千光寺公園は、NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が認定する、全国125カ所、中国地方で11カ所の「恋人の聖地」の一つ。尾道市観光課は「結婚式や式前の写真撮影の場所として、広場を利用してもらえば」としている。お披露目会では先着100人に花の苗のプレゼントなどがある。